

風と共

発行所
近畿空調工業協同組合
大阪市北区神山町8番
22号(梅電ビル)
電話(6312)0466-5508番

諸事業活動を展開

理事長 一宮 吾郎



秋冷の候、組合員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、協力業者、登録業者の方々にお願い申し上げます。当組合におかれましては、ご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

は本来のペースに戻したく思いますので、組合員皆様のご協力を重ねてお願い致します。さて、別稿の「組合のあゆみ」にもありますように4月以降の活動報告をしておりますので、ご理解頂きますようお願い致します。先回にも述べましたように、建築業界、とりわけ専門工事業界に逆風がますます厳しさを増しており、きわめて深刻な様相を呈しております。

先にも、運命共同体としてのご理解を求める活動を続けて行きます。その他、建設省の平成13年度版の仕様書に対する改定に向けての作業も、当組合の担当として対応しております。そして、長年の継続テーマである社団法人化についても明るい見通しになってきていることをご報告致しますが、今後組合員の皆様にもなお一層のご協力を求めることとあります。10月17日に宝塚グラントホテルにおいて「第19回通常総会」が、当組合担当で、菅本会長以下27名の出席で開催されました。参加各位には重ねてお礼申し上げます。一方、組合活動では、先号でも掲載している「中小企業活路開拓調査・実現化事業」が、担当理事、監事、青年部会、技能士会が一体となり、すでに4回の会合と先進企業見学会も終え、熱心な討議を重ね、最終段階のまとめに入っております。

また、総務、教厚、工資の各部会においても、2カ月に1回のペースで会合を持ち、各種諸問題の解決へ前向きに活動して頂いておりますので、その際の要請に對してのご協力もよろしくお願い致します。近畿地区3団体(配管、保温、ダクト)懇談会も継続し、生き残りをかけて、それぞれの立場で意見交換し、真剣に取り組んでおります。我々にとり来々二〇〇〇年は、今年よりさらに厳しい状態が続くと思っております。組合員が一致団結できる体制づくりのための運営方針・方策を明確にして行きたく思っています。明るい未来を見ずして英知を結集し、この難局を乗り切り組合員皆様方のご繁栄とご祈念申し上げます。最後に、工資委員長増田理事が7月13日に急逝されました。5月の総会での歌声、工資委員長としての強烈なリーダーシップが昨日のように思われます。組合として貴重な人材

組合のしおり

認可庁 建設大臣、近畿通商産業局長(共管)
設立日 昭和五十年八月四日(創立日 昭和五十年四月十五日)
設立目的 組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図る。

①ダクト製造及び建設業の許可を受け、空

②組合の地区内に事業場を有すること。
出資金 二、五九五万円
主な事業
(1) 共同購買事業
組合員の取扱う副資材及び工具類を登録業者より共同購入するもの。
(2) 共同受注事業
組合員の取扱う空調設備工事を受注するもの。
(3) 共同金融事業
組合員に対する事業資金の貸付(長期、短期)及び手形割引をするもの。

(4) 教育情報事業
組合員の事業に関する経営及び技術の向上または知識の普及・研修を図るもの。
(5) 福利厚生事業
組合員の懇親を図ると共に慶弔を行うもの。
(6) 協約締結事業
組合員の経済的地位の改善のために団体協約を行うもの。

昭和五十四年度、全国中小企業団体中央会よりモデル組合指定を受けました。
昭和五十五年、日夕連発起人組合として同連合会創立にかかわりました。
昭和五十六年度、労働省より建設雇用改善モデル組合指定を受けました。
昭和五十七年十月よりダクト連合会長組合として支援中です。
昭和五十七年以降ダクト板金作業実技試験

平成五年十一月、中小企業庁長官表彰を受けました。
平成六年九月、中小企業庁長官表彰を受けました。
平成十一年五月、大阪府知事表彰を受けました。

組合のあゆみ

平成11年4月～10月

- 3日 登録業者・工資委員会合同懇談会
- 7日 第一回会計監査
- 17日 技能士会役員会
- 20日 機関紙第六〇号発行
- 23日 全員協議会・講演会
- 3日 組合産業功労 知事表彰受章
- 10日 第二回会計監査
- 11日 第二回通常総会
- 26日 第四回通常総会
- 11日 全夕連役員会
- 13日 検定実技講習
- 19日 技能士会第七回総会
- 22日 検定委員・補佐員合同委員会
- 29日 技能検定実技試験
- 9日 活路開拓調査・実現化事業開始
- 13日 常務会
- 14日 活路開拓調査・実現化事業委員会
- 15日 全夕連総会
- 16日 増田理事告別式
- 16日 青年部交流会
- 5日 教厚委員会 第一五八回理事会
- 7日 登録業者・工資委員会合同懇談会
- 23日 ダクト連役員会
- 29日 検定学科講習
- 7日 総務委員会 活路開拓調査・実現化事業委員会 常務会
- 25日 教厚委員会機関紙編集
- 2日 全員協議会
- 6日 全夕連役員会
- 13日 工資委員会
- 15日 活路開拓調査・実現化事業委員会
- 17日 第一五九回理事会
- 17日 青年部定例会
- 29日 第一九回ダクト連大会
- 29日 活路開拓調査・実現化事業管外視察

NKK(日本鋼管) ダクト用NKK亜鉛鉄板
亜鉛鉄板・カラー鉄板・表面処理鋼板
ステンレス・一般鋼材
ダクト用高級化粧鋼板 **ヒシメタル**

NKKグループ
エヌトレ薄板建材

エヌトレ西部薄板建材株式会社
〒550-0012 大阪市西区立売堀4-5-27
シティビル阿波座
TEL: (06) 6532-1107 FAX: (06) 6533-9857

日板/小池KADシステムとダイテック社の
CADwe'IIによるCAD-CAM一貫システム

NCコントロール装置バージョンアップ
HYBRID D200 新発売

日本鐵板株式会社

大阪支店 〒541-0041 大阪市中央区北浜3-6-13 (日土地淀屋橋ビル)
TEL (06) 6203-5691

SANBEC
サンベック株式会社

取扱い品目
・フレキシブルダクト
・アルミ・鉄・フレキ
・消音器機
・スパイラルダクト
・ダンパー・吹出口
・ステンレスフード
・グリスフィルター
・メッツフランチ

大阪営業所/〒556 大阪市浪速区元町2丁目6-29
電話 06-647-1731(代) FAX 06-649-0231
本社/〒103 東京都中央区日本橋小舟町6-6小倉ビル
電話 03-3663-2811(代) FAX 03-3668-8148
名古屋営業所/〒461 名古屋市中区大幸2丁目2-10
電話 052-712-1900(代) FAX 052-712-1811

亜鉛鉄板・カラー鉄板・表面処理鋼板・ステンレス・一般鋼材・空調資材
・保温保冷材料・配管資材・土木建材・荷造用材・ダクト消火装置
・グリスフィルター・フード・阻集器・モノタイトバルブ・消火栓

新日本製鐵 日新製鋼

大成鐵鋼株式会社

岡山大成鐵鋼(株)
〒564-0063 吹田市江坂2丁目4番1号
TEL (06) 6385-0481~7
FAX (06) 6385-0488

〒702-8026 岡山市浦安本町90番地の1号
TEL (0862) 64-6077~8
FAX (0862) 64-2058

「活路開拓事業・経営実態調査」報告

大阪府中小企業団体中央会と近畿空調工事業協同組合は、研究事業として、当組合員を対象にアンケート方式による「活路開拓事業・経営実態調査」を実施し、9月7日に調査結果をまとめました。以下は、その中の主要項目です。

1	① 回収33社（1社除外）	計	有効	構成比
②	資本金（または元入金）：（単位百万円）	456.9	0	0%
③	経営者の年齢 a)30歳代以下 b)40歳代 c)50歳代 d)60歳代 e)70歳代以上	2 3 13 11 3	32 0 0 0 0	6% 9% 41% 34% 9%
④	営業年数（個人企業時代を含む）	950	0	0%
⑤	経営者の出身 a)創業者 b)二代目（直系親族） c)三代目以降（直系親族） d)企業からの生え抜き e)他の会社からの抜擢	18 7 1 6 1	33 0 0 0 0	55% 21% 3% 18% 3%
⑥	後継者は a)決まっておりますすでに社内働いている b)決まっているがまだ社内働いていない c)現在、検討中である d)まだ決める時期ではない e)適当なものがない	14 1 6 8 1	30 0 0 0 0	47% 3% 20% 27% 3%
②	外注する理由 a)需要変動への対応のため b)固定費（人件費・経理費）削減のため c)技能工不足のため d)現場労務管理が煩わしいため e)施工現場が遠隔地のため	23 10 10 3 8	54 0 0 0 0	43% 19% 19% 6% 15%
(5)	最近1年間の地域別工事件数 a)大阪市内（300万円以上） b)大阪府（大阪を除く） c)京都府 d)兵庫県 e)奈良県 f)和歌山県 g)滋賀県 h)その他	168 120 114 396 35 15 53 56	957 0 0 0 0 0 0 0	18% 13% 12% 41% 4% 2% 6% 6%
(11)	職場環境について (イ) a)従業員の休憩室はありますか b)従業員の食堂はありますか(休憩室を兼ねても良い) c)従業員の男女別の更衣室はありますか d)従業員の男女別のトイレはありますか e)従業員の救急箱(薬など)はいつも整備されていますか f)指定の労災病院を確認していますか (施工現場) a)高温多湿(夏場) 有り やや有り 無し b)換気 有り やや有り 無し c)騒音 有り やや有り 無し d)振動 有り やや有り 無し e)臭気 有り やや有り 無し f)粉塵 有り やや有り 無し g)汚れ(床) 有り やや有り 無し h)照度 有り やや有り 無し i)危険(手の巻き込み) 有り やや有り 無し j)眼の傷 有り やや有り 無し k)重量運搬物 有り やや有り 無し l)火傷 有り やや有り 無し	16 12 11 8 18 12 7 4 2 6 5 2 3 4 7 6 5 1 5 2 6 5 7 2 6 4 7 3 2 6 4 1	32 32 32 32 32 32 13 0 0 13 0 0 12 0 12 0 12 0 12 12 12 12 12 12 13 0 0 0 12 0 12 12 12 0 12 0 12 0 12 12 12 0	50% 38% 34% 25% 56% 38% 54% 31% 15% 46% 38% 15% 58% 25% 42% 33% 8% 33% 58% 50% 42% 8% 17% 15% 46% 38% 17% 58% 25% 58% 17% 50% 33% 8% 33% 58%
(12)	工場の構造 a)50坪以内 b)99坪以内 c)100~499坪 d)500坪以上	4 5 19 3	31 0 0 0	13% 16% 61% 10%

(13)	設備投資の状況 ①省力化・合理化 過去3年の設備投資の実績 a)なし b)200万円以下 c)200万~1千万円以下 d)1千万円以上 将来3年間の設備投資の考え a)なし b)200万円以下 c)200万~1千万円以下 d)1千万円以上	11 14 3 3 17 8 2 3	31 0 0 0 30 0 0 0	35% 45% 10% 10% 57% 27% 7% 10%
	③売上げ増 過去3年の設備投資の実績 a)なし b)200万円以下 c)200万~1千万円以下 d)1千万円以上 将来3年間の設備投資の考え a)なし b)200万円以下 c)200万~1千万円以下 d)1千万円以上	24 1 4 1 20 4 3 1	30 0 0 0 28 0 0 0	80% 3% 13% 3% 71% 14% 11% 4%
(23)	経営上の問題点について a)受注量の減少 b)受注の繁閑（はんかん）差 c)受注の見込みが立てにくい d)営業力の不足 e)受注単価の低下 f)納期が短い g)品質管理のレベルが低い h)職工の不足 i)後継者がいない j)工場や作業場所が狭い k)設備近代化の遅れ l)人件費の負担増大 m)収益性の低下 n)貸し渋りによる資金繰り難 o)情報化の遅れ p)現場への製品移動によるコスト高	25 13 12 5 28 2 1 5 3 3 1 20 23 4 1 3	149 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	17% 9% 8% 3% 19% 1% 1% 3% 2% 2% 1% 13% 15% 3% 1% 2%
(24)	21世紀へ向けての活路 今年3年以内に取り組みたい事項 a)営業力を強化する b)新規取引先を開拓する c)顧客構造を改善する d)人材開発、育成に取り組む e)高度技術開発を進める f)機械化・合理化投資をする g)工事・製品・サービスの製品転換をする h)新事業分野へ進出する i)他社との提携協業化を進める j)技術特許の取得 k)ISO9000、ISO14000の認証取得をする l)人事評価及び賃金制度の改革 m)女子労働者の採用と戦力化 n)完全週5日制の実施 o)新工法による生産革新	23 17 8 22 7 12 5 4 8 2 4 15 7 4 8	146 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	16% 12% 5% 15% 5% 8% 3% 3% 5% 1% 3% 10% 5% 3% 5%
(25)	21世紀へ向けての活路 空調工事業界は今後どうあるべきか a)設備近代化すべきだ b)人材開発・育成に努めるべきだ c)技術開発をすべきだ d)新分野へ進出すべきだ e)情報化を推進すべきだ f)完全週5日制を進めるべきだ g)ISO9000の認証を取得すべきだ h)新工法を採用すべきだ ③週休形態制度 a)週休1日制 b)月1回週休2日制 c)月2回週休2日制 d)隔週週休2日制 e)月3回週休2日制 f)月4回週休2日制 g)完全週休2日制 h)年間カレンダー制（カレンダーのとおり） i)その他	24 29 26 10 22 13 10 21 6 6 7 1 1 0 3 6 3	30 30 30 30 30 30 30 30 33 0 0 0 0 0 0 0	80% 97% 87% 33% 73% 43% 33% 70% 18% 18% 21% 3% 3% 0% 9% 18% 9%
(28)	就業規則はありますか a)完全 b)不完全ながらある c)作成中 d)ない	17 9 2 4	32 0 0 0	53% 28% 6% 13%
(29)	正社員の方の労働時間(休暇を含む)の変更 ①週40時間制 a)変形労働時間制の導入 b)完全週40時間制の採用 c)その他 ②過去3年間に就業規制の変更 a)就業規制を変更した b)就業規制の変更はしなかった ③労働時間を短縮した理由 a)自社の販売力や生産性を高めるため 【労務管理上】 a)正社員の増加 b)アルバイトの採用・増加 c)従業員の意識改革 d)出勤管理の強化 e)残業(時間外労働)の規制 f)時間短縮前の賃金の保証 g)シフト勤務、交代勤務の導入 h)能力開発のための教育訓練の強化 j)従業員・労働組合への協力要請 ⑦労働時間短縮策を取れなかった理由 a)加工料あるいは工事量を維持する上で、労働時間短縮の余裕がないから b)取引先との関係上、労働時間の短縮や休日を変えにくかったから c)業務の性質上、営業・就業時間の変更が難しいから h)もともと労働時間が長くないから i)賃金の減少などで従業員が希望しないから j)企業経営上、現時点での短縮が難しいという点で... n)労働時間短縮に伴うコストアップが価格に転嫁できないから o)従業員の新規確保が出来なかったから p)その他	19 5 6 18 12 3 1 2 12 2 9 4 2 6 4 6 8 3 3 2 4 1 1	30 0 0 30 0 0 40 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 34 0 0 0 0 0 0 0 0 0	63% 17% 20% 60% 40% 8% 2% 4% 24% 4% 18% 8% 4% 12% 8% 18% 24% 9% 9% 6% 12% 18% 3% 3%

機械設備工事における単価設定条件

機械設備工事についても基本的には建築工事と同じであるが、取引の形態が設備工事においては若干異なっているため、改めて設定条件を示す。

⑦仮設の電力・用水の一次側設備および使用料金は、元請の負担とする。

1. 共通設定条件

(1) 調査対象建物と標準施工物件

- ①建物種別、構造、建物規模
 - 事務所・庁舎 鉄筋コンクリート造
鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積 3,000㎡程度
階高 3.5m程度
 - 共同住宅 壁式鉄筋コンクリート造
鉄筋コンクリート造
鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積 2,000㎡程度
階高 2.8m程度

②立地

調査対象地域の一般的な市街地とする。

③その他

調査細目に設定している施工条件（単価構成内容）による。

(2) 基本共通条件

- ①総合設備工事業者から専門工事業者（一次下請）への支払いは出来高現金払いとする。
- ②作業時間は昼間とする
- ③単価は設計数量に対応したものとす。
- ④単価には専門工事業者の諸経費を含む。
- ⑤総合設備工事業者の現場経費、一般管理費等および消費税は含まない。
- ⑥法定の労災保険は、元請の負担とする。

2. 調査価格について

基本的には建築工事と同様。ただし、官公庁工事においては建築工事と異なり、分離発注形態をとることが一般的である。従って、調査価格は総合設備工事業者と専門工事業者との間で契約された直近時点の単価を基本とする。

ダクト工事の単価構成内容

○印は単価構成に含み、×印は含まないものとします

	構成内容	条件	主な内容
材料費	主材料	○	亜鉛鉄板、スパイラルダクト
	補助材	○	六角ボルト、ナット、フランジ用ガスケット、形鋼、コーナー金具、シール材、補強用形鋼、継手類、ダクトテープ、タップスクリュー、リベット等、吊り・支持用形鋼、吊り・支持用棒鋼、消耗品雑材料
労務費	小墨出し	○	ダクト吊り込み用
	加工組立	○	
	防錆塗装	○	材工共（工場内）
	吊り金物・支持金物取り付け	○	
	吊り込み	○	
	場内小運搬	○	水平小運搬
	施工後の点検	○	専門工事業者による自主点検
	雑作業	○	工具、材料探し及び資材チェック
	清掃あと片付け	○	
	持込材処理	○	余剰材の集積・片付け・管理、不要材の場外搬出
	発生材処理	○	ゴミなどの指定場所への集積
	作業用足場	○	脚立等の作業用足場の組立、移動及び撤去
	支持材等製作取り付け	×	支持架台鋼材、防振支持材、耐震支持材（すべて材工共）
	スリーブ箱入れ製作取り付け	×	材工共
	インサート、あと施工アンカー	×	材工共
	穴埋補修	×	材工共
	外面シール	×	材工共
ボード穴あけ	×		
デッキプレート切断	×		
はつり穴あけ補修	×		
安全用仮設	×	開口部仮閉塞など	
雑費	運搬費	○	ダクト製作工場から工事場所までの材料、工作機、工具運搬
	機械損料	○	専用機械の損料
経費		○	専門工事業者の経費とする（元請の経費は含まない）

ダクト工事市場単価

'99年6月調べ
(単位：円)

名称	規格・仕様	板厚	単位	大阪	東京	名古屋
アングル	長辺寸法L ≤ 450mm	0.5mm	㎡	5,760	5,990	5,540
フランジ工法 (低圧ダクト)	450 < L ≤ 750	0.6	"	5,910	6,220	5,880
	750 < L ≤ 1,500	0.8	"	6,660	6,740	6,680
	1,500 < L ≤ 2,200	1.0	"	7,500	7,710	7,300
	2,200 < L	1.2	"	9,640	10,300	8,930
アングル	長辺寸法L ≤ 450mm	0.8mm	㎡	7,110	7,330	6,800
フランジ工法 (排煙ダクト)	450 < L ≤ 750	1.0	"	7,960	8,310	7,460
	750 < L ≤ 1,200	1.0	"	7,960	8,310	7,460
	※ピツバークはぜ	1,200 < L ≤ 1,500	1.2	10,000	10,800	9,450
"	1,500 < L ≤ 2,200	1.2	10,000	10,800	9,450	
"	2,200 < L	1.2	10,000	10,800	9,450	
コーナーボルト工法	長辺寸法L ≤ 450mm	0.5mm	㎡	5,130	5,310	5,080
共板フランジ工法	450 < L ≤ 750	0.6	"	5,450	5,580	5,330
	750 < L ≤ 1,200	0.8	"	5,860	5,910	5,900
	1,200 < L ≤ 1,500	0.8	"	5,860	5,910	5,900
スパイラルダクト (低圧ダクト)	口径φ = 100mm	0.5mm	m	3,110	3,050	3,140
	" = 125	0.5	"	3,480	3,350	3,400
	" = 150	0.5	"	3,730	3,720	3,640
	" = 175	0.5	"	4,120	4,180	3,950
	" = 200	0.5	"	4,590	4,670	4,510
	" = 225	0.5	"	5,120	5,340	4,910
	" = 250	0.5	"	5,580	5,790	5,410
	" = 275	0.5	"	5,990	6,170	5,540
	" = 300	0.5	"	6,630	5,750	6,400
	" = 350	0.5	"	7,450	7,940	6,750

関連営業品目 新日鉄コイル、3×6.4×8
日板フアブリ、フランジ
グラスウール、アルミホース

日本鉄板・積水化学 代理店
松下電工・大プラ

広田商事株式会社

本社 京都市南区上鳥羽北花名町29 TEL 075(681)2561

(加工センター TEL075(661)2311)

◎「ニューホープ」フレキシブルダクト関連

J. I. Bフレックス：アルジブフレックス
アルフレックス：シルバーフレックス
ハイパーフレックス

◎消音機器関連

企画：設計：製作
ボックス：エルボ：マフラー：チャンバー他
消音計算：騒音測定



We are always with you. 「夢見人」

アライ実業株式会社

本社 〒589-0013 大阪狭山市くみの木8丁目1544-1
TEL (0723) 65-3331 FAX (0723) 65-0943
東京営業所 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-3-10 吉川ビル4F
TEL (03) 5256-0902 FAX (03) 5256-0903
福岡営業所 〒816-0081 福岡市博多区井相田1-9-6
TEL (092) 593-0333 FAX (092) 593-0330

ダクト業界を揺るがす、製作、取付工事の分業化

我々業界においては、製作と取付を分類し、分業化することが2000年に向けての前進か、後退か、大きな選択期にきている。現在、関東、関西では分業化を本格的に考え、実行に移している業者がいると聞く。

私が考えるに、まだまだ問題点が多かるはず。そのうち簡単に移行出来ないと思うが、会社運営のための戦略か、膨れ上がった人員

転載ろんだん

大企業の再建が経済を救うか

日産自動車の最高執行責任者であるカルロス・ゴーンのルノー経営改革は、産業界に少なからぬショックを与えた。関係会社を含む四工場の閉鎖、二万一千人の人員整理は、かつてない大リストラである。

長年、地域において生産システムのメリットを享受し、誘致条件などで税の恩恵を受けてきたにもかかわらず、一企業の都合だけで撤退が許されるものである。取引先や従業員、あるいは自治体をも巻き込んで、地域再生の時代に逆行する行動といえる。地域経済の損失に対してペナルティーを課されてもおかしくない。ところが、深谷通産相の談話は「再建計画は不可欠である」として評価している。どこかが狂っている。

中小企業の「自助努力」は報われないか

業国会。ここでは大企業と中小企業の「格差是正」を政策理念としてきた中小企業基本法を改正し、意欲ある中小企業の自助努力を支援し、創業・ベンチャー企業への対策により、雇用と産業の創造につながる政策体系を構築することが主眼である。

中身は、創業・ベンチャー企業と中堅企業を重点的に支援する方向であり、定義も範囲を拡大し、資本金を三億円とする。大企業といえども生き残りに必要な設備に

経済戦略会議が提唱している、産業競争力を高める方向というものは、どこからみても大企業の再生・競争力促進が中心となっていて

責任の所在が不透明で、もし間違った図面が製作すれば責任、即ち、お金の出所は発注者が当然支払うべきであるが、サブコンが取付会社か大きな問題点である。

実際に現場で試みていると聞くが、どの現場でもうまくいっていないと聞く。しかし、この責任の所在が明確になれば可能のものとなるであろう。

この大きな波にどう立ち向かって行くか、我々自身の意識改革はもとより、時代の流れに遅れることなく対応しなければ、浄化されるかもしれない。

(教厚委員長)

負け組の企業は自助努力が足りないのだから、自己責任で解決せよというものが当然のようにいわれる。利益を出せないのは、競争に敗れた企業者の経営手腕だけではない。パル崩壊以降、経営を維持していること自体、大変な自助努力が行われてきたということではない。

仮に、奮起して他より業績を上げられる力をつけた企業がでてきたとすると、勝ち組のなかの誰かが転落するのがゼロサム社会である。

したがって、努力すれば皆が勝ち組に入れるということではない。努力したものが報われないのは、経営運営のカジ取りの問題から必要に合せて供給を小さくするのはなく、需要を喚起してリストラを回避するために出動すべきだったのである。

大企業の競争力強化、経営の合理化についていえば、たとえば、一〇%、二〇%のコストダウンの目標が決定すると、下請企業など関連企業に転嫁することによって達成しようとする。

傘下の中小企業というのは機械化、合理化で吸収できる生産システムが整備されているわけではないので、たちまち経営は窮地に陥ることになる。負け組を単純に企業努力が足りないということでは片づけられない。

雇用者の所得がマイナスとなるということは、戦後経済で一度も経験したことがない。日本の個人貯蓄は一千二百兆円もあるのだから、これを消費に向ければ景気は立ち直ると考えるのは、数字の上だけの話である。

先行き不透明を払拭するビジョンを描き、国民に理解を求める、実行力のある政治家が出てこないのが致命的となっている。

(商工新報より抜粋)

建設業における疾病（私病）の項目別分析 (163件に基づく)

- ① 疾病（私病）の月別発症
1) 5月 2) 3月 3) 7月 4) 8月 の順で発症している。
- ② 疾病（私病）の発症時間帯
1) 9時台 2) 10時台 3) 13時台 の順で発症している。
- ③ 下請次数（0次元請）
1) 2次 2) 1次 3) 3次
- ④ 職種
1) 土工 2) 型枠工 3) 薫工
- ⑤ 年齢
1) 55~59歳 2) 50~54歳 3) 45~49歳 の順。
- ⑥ 経験年数
1) 20年以上 2) 1年~5年未満 3) 5年~10年未満 の順。
- ⑦ 入場後日数
就業第1日の発症が最も多く、続いて10日目までに発症、の順となっている。
- ⑧ 病名
1) 脳血管疾患53% 2) てんかん14・1% 3) 心臓疾患12・3%
この3種で約6割を占めている。

スパイラル、各種吹出口、ダンパー、アルミフレキ、保温フレキ、保温保冷材料、設備機器

製造販売元

株式会社 大 設

本社 〒578 東大阪市川田4丁目7番5号
 本社工場 電話 (0729) 65-0398
 FAX (0729) 63-9712
 徳島工場 〒779 徳島県三好郡井川町西井川2122
 -48 電話 (08837) 2-6860
 FAX (08837) 2-6861

亜鉛鉄板・カラー鉄板・ステンレス
表面処理鋼板・一般鋼材

下田金属株式会社

本社 神戸市兵庫区塚本通3丁目3-19
 〒652 電話神戸 (078) 576-5141(代表)
 阪神営業所 西宮市山口町阪神流通センター1丁目107
 〒651-14 電話有馬(078)903-1234(代表)
 東神戸営業所 神戸市東灘区深江浜町159
 〒658 電話神戸 (078) 452-0691(代表)
 加古川営業所 加古川市平岡町高畑字辻ヶ内334-1
 〒675-01 電話 (0794) 26-8931(代表)

ダクト切断ラインの無人化時代をリード!

ダクト切断ラインを完全自動化!
21世紀のファクトリー・オートメーションを
追求し続けます。

株式会社 AOYシステム

本社/〒241 横浜市旭区柏町27-1 イーストグレイン302号
 TEL.045(366)7836 FAX.045(366)7837
 工場/〒242 神奈川県大和市下鶴間3846
 TEL.0462(72)5750 FAX.0462(77)7440

営業品目 棒鋼、亜鉛鉄板、一般形鋼類、造船用鋼板、一般厚中板、薄板、表面処理鋼板、鋼管類、プリキ、H形鋼、アルミ半製品、スクラップ、その他一般鋼材及び機械部品の販売
 生産品目 異形棒鋼及び普通小形棒鋼の製造並びに加工 (JIS表示許可工場)

内外製鋼株式会社

取締役社長 島村弘之
 本社 大阪市中央区今橋4丁目3-22 (山本ビル)
 電話 (06) 222-1011(代) FAX(06)222-0839
 工場 広島県沼隈郡沼隈町大字草深
 電話(0849)87-2131(代) FAX(0849)87-1329
 京阪配送センター 枚方市長尾家具町2丁目9-1
 電話(0720)57-2167

建設業における事業協同組合と協業組合の活用について

建設省建設経済局建設振興課 財団法人建設業振興基金

〈組合組織〉

●組合制度とは
中小企業は、一般に規模の過小性、技術力の低さ、信用力の弱さなどによって経済活動の面で不利な立場に立たされている場合が多く、事業経営の上で種々の問題を抱えています。これらの問題には個々の中小企業の企業力だけでは解決し難いものも多くあります。このため、中小企業が直面している経営上の諸問題を解決し、その経済的地位の向上を図るため、複数の

●事業協同組合の組織

【目的と事業】
事業協同組合は、組合員である中小企業者が行う事業に関して、相互扶助の精神に基づき、協同して事業を行うことにより、中小企業者の経営の合理化と取引条件の改善を図るものであります。事業協同組合の根拠法規は「中小企業等協同組合法」です。

●協業組合の組織

【目的と事業】
協業組合は、組合員の事業活動についての協業を図ることにより、企業規模の適正化による生産性向上等を効率的に推進し、その共同の利益を増進することを目的としています。協業とは組合員または組合員になろうとする者がその営む事業の全部または一部を協同して経営することであり、協業組合の事業は協業の対象となる事業およびそれに関連、付帯する事業ということになります。協業組合の根拠法規は「中小企業団体の組織に関する法律」です。

鉄板出荷、底ばい続く

98年は前年比4%減に 12万5千8百トン

建設投資の水準は上がらず、ダクト需要も依然として底を脱していない。その状況を物語っているのがダクト用亜鉛鉄板の出荷量。亜鉛鉄板の出荷結果から年間のダクト用亜鉛鉄板の出荷量推移をみると、九八年は十二万五千八百トン(前年比四%減と、九一年のピーク越え以来、七年連続のマインスマスとなった。ダクト用亜鉛鉄板の出荷量は、この十年間に大きく変化した。バブル時代の山は高く、その後の谷は深い。出荷の山頂は九一年で二十一万四千七百トンに達した。以降、下降局面に移り、四年目の九五が十四万三千九百トン、九六年十三万九千二百トンと推移。この傾向に歯止めがかからず九

七年も前年比六・五%減のジャスト十三万トン。そして九八年の実績となった。今ではバブル期の突出した需要状況を「異常な時」として、安定成長を目指している業界にとってひとつの目安は十四万トン。この目安は次のような考え方がらきている。つまりピークの九一年に至る上昇の道程を遡ると、スタートの八七年が前年の十二万九千トンから十四万一千トンと十四万トン台乗せした年であり、バブル時代は異常との受け止め方からすると十四万トン台は一概に低い数字とも言えず、この水準を保てるならば危機意識は必要ではない。

九九年一月の出荷量は一万三千九百トン、前年同月比六・四%減となっている。このまま推移すれば年間十二万トンの目標は達成できなくなる。受注実績によれば、銀行性をにじませた動きをたどるとの見方が有力。つまり、今年四月の受注は前年同月比一・二%のマイナスマスとなっているものの、直前の三月、その前の二月は前年同月比プラスとなっていたことに基づく。


大型補正予算による公共投資にリドされておはいえ、今年辺り建設投資も底ばい状態から脱するとの観測もあり、ダクト需要もそろそろ回復に向かうとの期待も高まってきている。

中小企業の倒産 手続き簡素化へ

和議法を廃止し、民事再生法成立で政府は十一月五日の閣議で、経営危機に陥った中小企業などの倒産手続きを簡

素・迅速化し、再建を容易にする民事再生法を決定した。同日中に提出、今国家で成立の見通しで、来年四月一日からの施行を目指す。これに伴い和議法は廃止される。民事再生法は、債務者が事業遂行や財産の管理処分を原則として継続しながら、債権者によって決められた再建計画に基づき、事業の維持や経済生活の再建を図る手段を導入する。破たん前でも適用を可能にし、一層の経営悪化を事前に食い止めるとともに、財産散逸防止のための強力な保全処分である包括的禁止命令や、事業再建に必要な不可欠な財産確保のため担保権を抹消する制度の新設などが主な内容。倒産企業の九割以上を占める中小・零細企業に利用しやすいように、再建計画が事前に提出されていることを条件に、届け出債務額の六割以上を有する債権者の同意があれば、手続きを省略し迅速処理ができる簡易手続きを併設した。

業者は建設業者のみならず商業、工業、鉱業、運送業、サービス業、その他各種の事業を行う者で構成することが出来ます。建設業者のみで構成される組合もあれば、いくつもの業種にまたがって構成される異業種組合もあります。【設立要件】事業協同組合を設立するにあたっては、組合員になろうとする者四人以上が発起人になり、設立総会の開催等一定の手続きを経て、定款に定められる組合員の行う事業を所管する行政庁の認可を受けることが必要です。【事業協同組合の原則】事業協同組合は、中小企業等協同組合法により、次のような原則が定められています。①組合員の相互扶助を目的とする組織であること ②加入・脱退が自由であること ③組合員の決議権、選挙権が平等であること ④剰余金は、主として組合の事業の利用分量に応じて配分すること ⑤組合は、行う事業によって組合員に直接奉仕するものであり、特定の組合員の利益のみ目的としてはならないこと ⑥政治的に中立であること



アローポータブルスポットガン

★亜鉛鉄板の溶接が確実にできます。
★自動はがれ防止装置(サーミックエナジーコントロール)付きのため溶接不良事故はもうありません。
★1000mmアーム使用によりダクト中補強もラクラクできます。
★カタログ他お問い合わせは愛知産業株式会社へお電話ください。

ARO-SPOTGUN
愛知産業株式会社

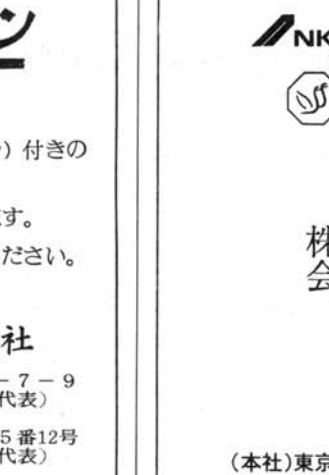
〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東2-7-9
電話 (078) 846-6060 (代表)
FAX (078) 846-6061
本社 東京都品川区北品川5丁目5番12号
電話 (03) 3447-0201 (代表)
〒141 営業所 広島・名古屋

15年余の経験を生かして 施工指導に励んで居ります。

吸音・軽量・省エネの マイクロウェルダクト

株式会社 東京興業貿易商会

大阪支店 大阪市西区西本町1丁目5番3号(扶桑ビル) 〒550 ☎ 06(532)5745(代)
本社 東京都港区新橋5-8-9(東興ビル) 建材課 〒105 ☎ 03(3436)4521(代)
福岡支店 ☎ 092(431)5072・広島支店 ☎ 0822(46)4701・名古屋支店 ☎ 052(201)3321
仙台出張所・札幌出張所・富山出張所



カラー鉄板・ダクト用亜鉛鉄板
各種表面処理鋼板・レバーカット・特寸切揃
日金工の屋根用ステンレス スワンカラー
Dan サイディング・ナカコーサイディング (そとかべくん)
アルミニウム・各種建材製品

株式会社 **カネキカナカオ**
大阪営業所
〒550-0014 大阪市西区北堀江1丁目15番18号
電話 (06)6541-2828
FAX (06)6532-6426
(本社)東京 (営業所)東京、秋田、仙台、宇都宮、茨城、千葉、静岡、名古屋、長野

ナワのダクトロン・シリーズで省人・省力化を!

- ・ 共板ベンダー
- ・ コーナー金具溶接機
- ・ SCII、SSIII型共板フランジロール成形機
- ・ NDK-C簡易型自動クリップカッター
- ・ NDK-FFF型エアースコーナーピース
- ・ NDK-SR中間補強リベットかしめ機
- ・ 自動供給カシメ機
- ・ NDK-VT直立自動ツイハゼタオシ機
- ・ NDK-7型エアースコーナー機
- ・ NDK-AR自動供給付リベッター

— 各種省力化機械の設計製作 —

株式会社 **奈和精機製作所**
大東市新田中町2-35
TEL 0720-73-2557(代)

増田小太郎理事を悼む

畑中 一郎

五月二十六日に催された当組合総会の席上、「今は俺とも苦しいけど、皆さんの会社も大変やろ、どないでっか！ そやけど東京がちよっと上向いて来た言うさかい我々もうちよっとの辛抱でせ」と、親しみをこめて皆に希望を捨てないよう熱弁を振られてからわずか一カ月半、六十五歳の余にも早い訃報だった。

総会以前にお目にかかったのが当組合の全員協議会で四月二十三日、逝かれる約三カ月前である。会議が終わって何故か増田理事と梅田氏まで二人だけの道往きになった時のことである。「おい畑中、俺医者に後二年や言われとんねん、ほんまや」と私にすれば二年と四月ほど前に大手術をされたとはいえ、協議会での歯切れの良い増田流スピーチと元氣そうな足取りの増田理事からお見受けして、あまりにも唐突と思えた言葉であった。

手術後度々の検査入院を

されていくことから、あまり体調がすぐれなかったようだが、私なりの判断で徐々に良くなられて完治へ向かわれていたとはかり思っていたので「後二年や」という言葉は、当然その時信じていることが出来なかった。それは私自身二十一年前に心臓弁膜の手術を受けた。また私の母も三十一年前に発見が遅く危ぶまれた乳ガンの大手術をしていただき、コトリールという薬を生涯の友として生活はつづがないという、とても信じがたい体験を通してか、病気が続くと手術後恐怖が続くことがあるというのを忘れてかいていたから、あの時増田理事の中心をもう少し深く覗いていたらと悔いている、心の足りなかつた私である。

増田氏は、優しい人だった。思ったことをすぐ口に出る飾り気のない人だった。たとえば八年前のこと、まだ関西空調工業協同組合と近畿ダクト工業協



5月の総会後の懇親会で自慢のノドを披露の増田小太郎氏

会の二団体が高立していた頃からさらに四年前になると思うが、近畿ダクト工業協会主催でサンエス工業株式会社の工場見学会があった時のことである。私の先代畑中武兵衛の名代出席で小さくなっていった私に「おい畑中はん、あんたがやりにゃあかん」と大勢の諸先輩の中で励ましのお言葉をかけていただき、うれしかったことを憶えている。

しかし、そんな増田氏の開けっ広げでストレートな言動の根底にある経営眼は非常に慎重で、かつ的確に時の流れを読みとる感覚は澄み切っていたように思う。この訝えた思考による増田氏の会社経営は、どんな色でも融合可能な多角経営と創業当初から全従業員への「やる気」を引き出すための実力主義的な歩合給制であることに裏打ち出来、まさに現在の先取りである。いま中小企業の選別淘汰がささやかれる中において、唯一生き残れる企業体質かもしれない。

さらに、増田氏は政治や経済の情報通でもあられた。組合会議の中によく政

緩やかな景気改善

10月の月例経済報告

経済企画庁はこのほど、月例経済報告等に関する関係閣僚会議に「十月の月例経済報告」を提出し、承認された。

報告によると、個人消費は緩やかに回復してきたがこのところ足踏み状態にある。企業の業況判断は、なお厳しいが改善が進んでいる。住宅建設は、前年を上回る水準で推移している。

しかしながら雇用情勢は依然として厳しい。勤め先や事業の都合による失業者が依然多く、完全失業率は高水準で推移している。

以上のように、景気は、民間需要の回復力が弱く厳しい状況をなお脱していないが、各種の政策効果の浸透などにより、緩やかな改善が続いており、政府は、総合的な経済対策を早急に策定し、平成十一年度第二次補正予算を編成するとしている。

取扱品目

(1) ダクト関連
 1. 消音チャンパー関連
 a) 吹出し口チャンパー
 b) 消音器
 c) その他サブライチャンパー
 2. キャンパス (たわみ継手)

(2) 吹出し口関連

(3) その他部品・パーツ
 1. ウォーム・ヘリカル
 2. ダンパーブッシュ
 3. 吹出し口部品
 4. 風量測定口

※ ダクト静圧損失・消音設計も致しております。

株式会社 イトー 製作所
 本社 大阪市東成区大今里南4丁目2-2
 TEL 06(6971)3731
 FAX 06(6976)3333

NISSIN

空調設備製造・空調関連資材製造・販売

防煙(防火)ダンパー
 防火(調整)ダンパー
 風量調整ダンパー

FD-102C
 SFD-N-742

●日本建築センター ●BCJ-DP(F)-98 ●BCJ-DP(S-T-F)-146
 防火性能評定合格品

日伸工業株式会社
 〒679-41 兵庫県豊野市揖保町揖保中321-1
 TEL (0791) 67-2060 FAX (0791) 67-2062

近畿空調工業協同組合組合員 (50音順)

〈大阪府〉

有元プラント工業(株) 072-211-2186	土井池設備工業(株) 072-0184-2821	田丸産業(株) 06-6531-6661	中央技建工業(株) 072-6149-1807	大阪マイクログラフト(株) 072-7184-3138
(有)稲数飯金工作所 072-211-2103	東洋工事(株) 06-6909-9233	内熱学工業所 078-925-0617	(有)長田ダクト工業 078-741-8692	仁川設備 079-771-3100
(株)稲津空研工業 06-6951-2891	(有)徳川ダクト 06-6731-4618	富永工業(株) 06-6473-0361	西日本工業(株) 06-6492-9233	(有)畑中飯金工作所 078-441-4341
大島工業(株) 072-9165-0871	富永工業(株) 06-6473-0361	西日本工業(株) 06-6492-9233	(有)藤川飯金工業所 079-2137-1514	(株)三木ダクト工業 079-4183-0824
(株)川戸製作所 06-6921-0461	花松設備工業(株) 079-811-4811	(有)藤川飯金工業所 079-2137-1514	(株)ヤブサダイナミックス 06-6401-5671	
関西設備工業(株) 06-6462-6161	菱江工業(株) 072-0731-3195			
関西中央ダクト(株) 072-6154-5222	房工業(有) 072-0741-7905			
(株)北村工作所 06-6462-0722	(有)富士設備社 06-6997-4639			
(株)小島工作所 06-6928-4141	(株)牧飯金工作所 06-6333-5541			
サンエス工業(株) 072-0145-0141	増田工業(株) 06-6935-3556			
三輝工業(株) 06-6475-5156	(有)マルニ工業 072-6153-3526			
(株)三建設備製作所 06-6340-2689	(株)三好板金工作所 06-6339-4745			
サンコー工業(株) 072-6153-6330	(株)森空調設備 06-6340-6334			
(株)三和製作所 06-6779-0022	(株)山口飯金工業所 06-6385-0643			
(株)新成製作所 06-6334-4782	湯浅飯金工作所 06-6338-2266			
大都工業(株) 06-6921-3626	レイワ工業 072-2191-9214			
(株)竹本設備 06-6863-3339				
(株)タナベ工業 06-6340-6882				
(株)谷工作所 072-6175-1027				

〈京都府〉

昭栄設備工業(株) 075-631-3260	東伸工業(株) 074-5173-5656
ホーセック(株) 075-931-6661	
(株)桃陽飯金 075-601-3355	
(有)森本飯金工業所 077-411-3100	
山城設備工業(株) 077-411-3100	
山野設備工業(株) 077-3175-5131	

〈奈良県〉

東伸工業(株)
074-5173-5656